

第28回全国私立大学教育研究集会 開催要項

2017年7月7日

日本私大教連
(日本私立大学教職員組合連合)

私立大学・短大は学生数で全体の75%を占め、多様な若者の成長・発達を支え、次代を担う市民、職業人を育て、社会の発展に大きく貢献しています。しかし私立大学の状況は年を追って厳しさを増しています。定員未充足の増加、採算状態の悪化、賃金や教育・研究・労働条件の切り下げ、募集停止・閉校など、とくに地方・中小規模大学を中心として将来の不透明感や不安感が強まりつつあります。また私立大学生の学費負担の重さは、世帯年収が低下の一途をたどる中で限界に達しており、貧困な奨学金制度のもと、多くの学生は学費や生活費を得るために多くの時間を費やさざるを得ず、充実した大学生活を送ることを困難にしています。

私立大学と私立大学生に困難をもたらしている根本的な要因は、政府が長期にわたり私立大学と私立大学生への公財政支出を極めて低水準に抑制し、費用負担を家計に押し付け、一方で「経済競争力強化」に大学を最大限動員するための「改革」政策、競争・淘汰の大学政策を推し進めてきたことにあります。安倍政権はこれまで「官邸主導」による学校教育法・国立大学法人法の改悪や、「専門職業大学」制度の創設、予算誘導による軍学共同研究の拡大などを強行してきました。今年度に入っては、「教育アウトカム指標」に基づく私大助成の傾斜配分の強化や、私立大学の再編・統合・淘汰、東京23区内の定員増規制など、私立大学を標的とした方針を矢継ぎ早に繰り返しています。

さらに安倍首相は、立憲主義を蹂躪し、憲法違反の解釈改憲、安保法制、共謀罪法創設を強行したことに続き、憲法改正への執念をいっそう露わにし、憲法9条の「加憲」や緊急事態条項創設などの憲法改正を来年の通常国会で発議する方針を打ち出しました。いま、この国の立憲主義・民主主義・平和主義は深刻な危機に立たされています。

今回の私大教研集会在こうした情勢の中で開催されることを踏まえ、記念講演では「軍事研究に関する学術会議声明と大学のありかた」をテーマに、日本学術会議副会長を務める井野瀬久美恵さん(甲南大学教授)に講演いただくとともに、多様な角度から平和・民主主義の課題に取り組んでいる大学関係者に学ぶセッションを設けました。また、私大政策の多角的な分析と対案、奨学金制度の貧困と学生の困難の打開、地方私大の困難と打開の方向性、職員の働き方と職場の質の改善、改正労働契約法と有期雇用教職員をめぐる課題等をテーマにしたセッションなど、これからの「私立大学のありかた」を考え、また私たちが直面している課題にどう取り組んでいくかを学び交流し合える企画を準備しています。多くの方々のご参加を心より呼びかけます。

目次

I 開催日・会場等……………2	V 会期中の昼食/団体保険について…3
II 参加費……………2	VI セッション紹介……………4
III 参加申込・参加費等の納入方法……………2	VII レポート提出について……………6
IV 宿泊について……………3	VIII 会場へのアクセス……………8

I 開催日・会場等

1. 名称……………第28回全国私立大学教育研究集会（略称：全国私大教研）
2. 開催日……………2017年8月26日(土)14:00開会～8月28日(月)12:30閉会
3. 会場……………福岡工業大学（福岡市東区和白東3-30-1）
26日：C棟地下ホール 27・28日：C棟3階各講義室
4. 主催……………日本私大教連（日本私立大学教職員組合連合）
TEL 03-5285-7243 FAX 03-3208-0430 E-mail info@jfpu.org
5. 日程

8月26日(土)	13:00 受付開始 【C棟1階・学生ホール】 13:30開場
	14:00～17:30 全体集会 【C棟・地下ホール】 ◇基調報告 ◇記念講演 軍事研究に関する学術会議声明と大学のあり方（仮） ＜講師＞ 井野瀬久美恵さん（甲南大学教授・学術会議副会長）
	18:15～20:15 全体交流会・情報交換会【B棟・レストランオアシス】
8月27日(日)	9:30～12:30 セッション 【C棟3階各講義室】*当日受付＝C棟1階・学生ホール 13:30～17:30 セッション
8月28日(月)	9:30～12:30 セッション 【C棟3階各講義室】

(注) 各セッションの会場は現地配布の「集会プログラム」でご案内します。

II 参加費

1. 参加費：1人6,000円。
2. 未加盟組合から参加される場合は、参加費とは別に集会分担金を拠出いただいています。
分担金の額は「参加者が所属する組合の組合員実数×200円」です。
3. 全体交流会・情報交換会：1人4,000円（立食・ドリンク付き）。
4. 集会期間中の交通費、食事代等は各自のご負担となります。

III 参加申込、参加費等の納入の方法

A 全国私大教研の参加申し込み方法

1. 申込時の提出書類は、別紙の「参加申込書」「参加組合の概要」の2枚です。
2. 必要事項を漏れなく記入し、申し込み締切日までに東京私大教連にFAXでお申し込み下さい。
東京私大教連 FAX：03-3208-0430

B 参加申し込みの締切……8月21日(月)必着

C 参加費、未加盟組合分担金、全体交流会会費のお支払方法

1. 申込書類の提出とあわせて上記費用を東京私大教連へ事前に納入してください。

*宿泊費については「日本旅行」への納入となりますのでご注意ください（Vを参照）。

振込先＝中央労働金庫池袋支店 普通3711375

または、

三井住友銀行高田馬場支店 普通3043858

口座名義は「東京地区私立大学教職員組合連合」

2. 事前納入が難しい場合は、東京私大教連書記局までご一報ください（Tel：03-3208-8071）。

IV 宿泊について

日本旅行を通じて下記のホテルを確保しています。これらのホテルをご利用の際は、下記「申込方法」にしたがってお手続きください。一定数・一定期間ホテルを仮押さえている関係で、各ホテルや旅行サイト等がウェブで提供している料金よりも若干高めになっておりますが、ご理解ください。

なお下記確保済みホテル以外をご利用の際には、混雑が予想されますので早めのご予約をお願いします。

ホテル名	室数	料金	立地等
博多グリーンホテル1号館	20	26日11,300円/27日9,500円	博多駅筑紫口より徒歩1分
博多グリーンホテル2号館	20	26日9,700円/27日8,500円	博多駅筑紫口より徒歩1分
博多グリーンホテル天神	15	26日9,700円/27日8,500円	地下鉄赤坂駅より徒歩1分

*部屋はすべてシングルルームです。料金は1泊朝食付き（税・サービス料込み）の値段です。

○申込方法

別紙「宿泊予約申込書」に必要事項を記入の上、「日本旅行」あてにFAXで送付してください。

*FAX番号03-3225-1008

○申込期間

7月12日(水)から8月7日(月)まで。先着順となりますのでお早めにお申し込みください。

○予約確認と宿泊料金のお支払い

お申し込み後、代表者の方に日本旅行より予約回答・案内書・請求書が送付されますので、その内容にしたがって宿泊料金をお支払いください。

○キャンセル料

ご宿泊の2週間前（8月26日宿泊の場合、8月12日以降）からキャンセル料が発生します（詳細は案内書をご確認ください）ので、ご注意ください。

V 会期中の昼食および団体旅行保険

A 8月27日（集会二日目）の昼食について

福岡工業大学近隣には飲食店がありませんので、仕出し弁当を用意します（税込み850円）。ご希望の方は「参加申込書」にてご注文ください（代金は会場にてお支払いください）。

B 団体旅行総合保険について

1. 日本私大教連は全国私大教研に団体旅行総合保険(死亡・後遺障害 600 万円外)を掛けています。
2. 保険の申し込みには、**氏名・性別・年齢が必要**ですので、保険加入をご希望の方は参加申込書に記入漏れのないようご注意ください。
3. 保険期間は8月26日の開会集会開始時から8月28日のセッション終了時までです。
この間に事故が生じた場合は、速やかに集會事務局および日本旅行にご連絡ください。
(→ 集會事務局緊急用連絡先 090-1118-0394)

VI セッションのご紹介

	午前コマ (9:30-12:30)	午後コマ (13:30-17:30)
8/27 SUN	1. 政府の私大政策と日本私大教連の政策要求	4. 大学の民主化と私学制度
	2. 地方私大の困難と打開の方向性	5. 職場の質の改善・向上を考える(職員セッション)
	3. 不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい (※午前午後通し)	
8/28 MON	6. 平和・民主主義をめぐる諸課題と取り組み	
	7. 私大生の学費負担の軽減をどうすすめるか	
	8. 改正労働契約法と有期雇用教職員	

1. 政府の私大政策と日本私大教連の政策要求

この間、首相官邸・内閣府から私立大学に焦点を当てた政策方針が矢継ぎ早に出されています。日本私大教連から「基調報告」にもとづき、この間の政府の私大政策の特徴・問題と、これに対する日本私大教連の政策要求における主要な論点を提示し、検討を深めます。

2. 地方私立大学をめぐる困難と打開の方向性 【単組レポート募集】

①日本私大教連から、地方私立大学が抱える困難な状況と私たちの課題について「基調報告」を踏まえた問題提起、②単組からのレポート、③「公立大学化」を経験した教員からの「公立大学化」に潜む問題の報告を踏まえ、地方私大の振興のあり方について検討を深めます。

3. 不当解雇・権利侵害・不当労働行為とのたたかい 【単組レポート募集】

①『大学教職員の判例・命令集』の発刊を記念し、最近の判例・命令の傾向と特徴をテーマとした講演、②裁判や労働委員会でたたかっている単組からのレポートを踏まえ、権利闘争に関する学習を深めます。

4. 大学の民主化と私学制度 【単組レポート募集】

①私学制度、私学法の基本的な仕組みと課題について学習するとともに、②この間「改革」が進展している上場企業のガバナンスを材料として、私立大学の管理・運営の民主的なあり方について検討します。これらにくわえて、③具体的事例として民主化を進めるたたかいの単組レポートも踏まえ、組合の取り組みを考えます。

5. 職場の質の改善・向上を考える（職員セッション） 【レポート募集】

日本私大教連の「労働実態調査アンケート」結果と、以下の①～③のテーマに関する単組・個人のレポートをもとに、大学職員をめぐる諸課題と組合の取り組みについて議論と交流を深めることを主眼とします。セッション終了後には会場を移して「職員交流会」（会費 4000 円程度を予定）を開催します。

- ①多忙化や時間外労働などの改善
- ②人事考課制度、目標管理制度
- ③組合の活性化（組織拡大、中途採用の増加、雇用形態の多様化、組織文化など含む）
- ④大学設置基準の改正と職員の位置づけの変化（日本私大教連「職員委員会」から報告）

6. 平和・民主主義をめぐる諸課題と大学の取り組み 【レポート募集】

安保法制の具体化、共謀罪創設、軍学共同研究の拡大、憲法改正発議に向けた日程の提示など、安倍政権下で急速に展開している動きに対する取り組みについて、各大学の「有志の会」などから報告を受け、交流を深めます。

7. 私大生の学費負担の軽減をどうすすめるか

①高等教育の無償化を実現する道筋に関する日本私大教連からの報告、②進展する日本学生支援機構の金融機関化とその問題点に関する分析報告、③学生生徒・保護者・奨学金返還者の困難状況についての当事者からの報告から、過重な学費負担の問題と解決方向、組合としての取り組みについて検討を深めます。

8. 改正労働契約法と有期雇用教職員 【単組レポート募集】

改正労契法により無期転換権が今年度末に発生します。①あらためて同法の趣旨・ポイントを学習するとともに、②日本私大教連が実施した「改正労契法への対応状況調査」結果や、③単組の取り組み報告、④全大教からの国立大学におけるたたかい報告をもとに、状況を交流し、今後の取り組みについて考えます。

■ ポスターセッションへの出展のお願い ■

組合・個人・グループ、職種を問わず、教育研究の向上を図る取り組み、教職員の権利を守る取り組み、社会の諸課題の解決に向けた取り組みなど、どのような分野でも、「教育研究集会にふさわしい！」と思うテーマであれば出展可です。出展数上限は20点です（先着順）。展示用パネル（サイズ1500×980; A0サイズまで貼り出し可能）と机・イスを提供します。署名活動や書籍販売、パンフレット等の配布も可とします。

◇開催時間 8月27日(日)10時～17時（コアタイム目安 12:30～13:30、15:15～15:45）

◇応募方法 * 申込期間: 7月24日(月)から8月17日(木)

* 申込方法: 日本私大教連にEメール(info@jfpu.org)でお申込みください。メールの件名を『教研ポスターセッション』とし、本文に①出展者氏名・所属、②出展タイトルと出展内容の概要(200字以内)を明記してください。

VII セッションへのレポート提出について

A レポートのお願い

1. 全国私大教研のセッションの成功は、組合員の皆さんから内容あるレポートが提出されるかどうかにかかっています。
2. 「セッション紹介」をご覧ください、積極的にレポートの準備をされるようお願いいたします。
3. レポートは次項「レポートの形式」に従って作成してください。
4. レポートは会場で全参加者に配布する「集会プログラム」に掲載しますので、**下記の提出期限**をお守りください。提出期限を過ぎた場合は当該セッションのみでの配布となります。

B レポートの形式（次頁参照）

1. レポートの内容と資料の扱い
 - (1) レポートは箇条書きでも構いません。ただし、簡略すぎて内容が判らないということがないようにしてください。
 - (2) 資料が必要な場合は、レポートとは別に用意し、当日セッション会場で配布してください。必要部数はセッションにより異なりますので、日本私大教連書記局にお問い合わせください。
 - (3) 「資料」の現地への送付については**次頁-E**をご参照ください。
2. 用紙・文体・分量
 - (1) A4タテ・横書き・である調
 - (2) 2頁以内に収めてください。超過した場合は日本私大教連書記局で編集する場合があります。
3. 文字サイズ・1行の字数・1頁の行数の目安
 - (1) 文字サイズ……本文=10ポイント（タイトル・見出しは任意）
 - (2) 1行の字数……50字
 - (3) 1頁の行数……50行

*いちおうの目安です。2頁以内に収まれば自由に設定いただいてけっこうです。
4. マージン(余白)……上下左右とも20mmの余白を設けてください。
5. レポートのフォーム……次頁をご参照ください

C レポート原稿の提出について

1. 提出期限……**8月16日(水) 必着**
 - (1) レポートを集会参加者全員に配布できるよう、できるかぎり提出期限までにご準備ください。
 - (2) セッションの報告でパワーポイントを使用することができますが、集会プログラムに縮小掲載することを考慮し見にくくならないように工夫してください（集会プログラムはモノクロ印刷です）。
またパワーポイントの使用を希望する場合は**レポート提出時に必ずお申し出ください。**
2. 提出方法
日本私大教連へEメール（info@jfpu.org）で送付してください。ワードファイル（もしくはワード形式で保存したもの）またはパワーポイントファイルにてご提出ください。

D レポートを直接セッションに持ち込む場合について

1. レポートの形式……**上記VII-B**「レポートの形式」と同じ。
2. レポートの部数……セッション参加者分（当該セッションのみ配布、部数はお問い合わせください）。
3. 書記局への提出……レポートは必ず日本私大教連書記局に送付してください。
4. レポートを現地に事前送付する場合は、**次項E**に従って送付してください。

E 資料等の現地送付について

レポート、資料を現地に送付する場合は次のようにお願いします。

1. 配送日……必ず8月23日または24日の到着日指定で送付ください。

2. 送付先……〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学教職員組合 気付

※ 梱包の目立つ箇所に「全国私大教研第〇セッション資料在中」と必ず明記してください。

■ レポートのフォーム (A4 タテ・横書き) ■

余白 2cm		(↓セッション名は不要)
第27回全国私大教研レポート	第〇セッション	
レポートのタイトル		
組合名 氏 名		
(本文)		
余白 2cm	<p>1. 用紙・文体・分量</p> <ul style="list-style-type: none">* A4タテ・横書き・である調* 分量はA4 = 2枚まで。超えた分は原則としてカットさせていただきます。 <p>2. 活字の大きさ・1行の字数・1頁の行数の目安</p> <ul style="list-style-type: none">* 本文の活字……10ポイント(タイトル・見出し=任意)* 1行の字数……50字(字間のアキを極力ゼロに設定する)* 1頁の行数……50行 <p style="text-align: center;">(※字数・行数は目安です。下記分量内であれば自由に設定してけっこうです)</p> <p>3. レポートの内容・資料の扱い</p> <ul style="list-style-type: none">* レポートは箇条書きでも構いませんが、簡略にしすぎて内容が判らないということがないようにご注意ください。* 資料が必要な場合は、レポートとは別にセッションで配布してください。* 資料を現地に事前送付する場合は上記をご参照下さい。 <p>4. レポートを直接セッションに持ち込む場合</p> <ul style="list-style-type: none">* 6頁-Dの指示に従って必要部数作成してください。* 配布は全員でなく当該セッションだけとなります。	余白 2cm
(* ページ番号不要)		

VIII 会場へのアクセス

福岡空港—〔地下鉄5分〕→博多駅—〔JR鹿児島本線快速(上り)14分〕→福工大前—〔徒歩3分〕→会場

※福工大前駅からは「福工大口」を出て下図キャンパスマップの矢印に沿ってお進み下さい。

(福岡工業大学HPより転載)

